

日局試験用

液状チオグリコール酸培地
「ダイゴ」日局試験用Fluid Thioglycollate Medium
》DAIGO 《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】393-01621 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

Ｌ－シスチン	0.5g
カンテン	0.75g
塩化ナトリウム	2.5g
ブドウ糖	5.0g
酵母エキス	5.0g
カゼイン製ペプトン	15.0g
チオグリコール酸ナトリウム	0.5g
レザズリン	0.001g
滅菌後のpH	6.9 ～ 7.3

調 製 法

本品29.3gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後バリデートされた方法で滅菌した後、2～25℃で保存する。

用 途

日局18 無菌試験法

日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法

※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
(令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276*Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275*Clostridium sporogenes* NBRC 14293

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

変法チオグリコール酸培地「ダイゴ」
日局試験用Alternative Thioglycollate Medium
》DAIGO 《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】390-01631 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

Ｌ－シスチン	0.5g
塩化ナトリウム	2.5g
ブドウ糖	5.0g
酵母エキス	5.0g
カゼイン製ペプトン	15.0g
チオグリコール酸ナトリウム	0.5g
滅菌後のpH	6.9 ～ 7.3

調 製 法

本品28.5gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後バリデートされた方法で滅菌した後、2～25℃で保存する。

用 途

日局18 無菌試験法

試 験 菌 株

Clostridium sporogenes NBRC 14293

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト
カンテン培地「ダイゴ」日局試験用Casein soya bean digest agar
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 394-01771 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	15.0g
ダイズ製ペプトン	5.0g
塩化ナトリウム	5.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	7.1 ~ 7.5

調 製 法

本品40gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
 日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
 日局18 保存効力試験法
 日局18 生薬の微生物限度試験法
 ※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
 (令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276
Pseudomonas aeruginosa NBRC 13275
Bacillus subtilis NBRC 3134
Candida albicans NBRC 1594
Aspergillus brasiliensis NBRC 9455
Escherichia coli NBRC 3972

使用 期 限

製造後 2年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト
「ダイゴ」日局試験用Casein soya bean digest broth
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 397-01761 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	17.0g
ダイズ製ペプトン	3.0g
塩化ナトリウム	5.0g
リン酸水素ナトリウム	2.5g
ブドウ糖	2.3g
滅菌後のpH	7.1 ~ 7.5

調 製 法

本品29.8gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 無菌試験法
 日局18 微生物限度試験法
 日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
 日局17 培地充てん試験 (プロセスシミュレーション)
 日局18 生薬の微生物限度試験法
 ※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
 (令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276
Pseudomonas aeruginosa NBRC 13275
Bacillus subtilis NBRC 3134
Candida albicans NBRC 1594
Aspergillus brasiliensis NBRC 9455
Escherichia coli NBRC 3972

使用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

サブロー・ブドウ糖カンテン培地
「ダイゴ」日局試験用Sabouraud-dextrose agar
》DAIGO 《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】392-01831 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

ブドウ糖	40.0g
ペプトン (肉製及びカゼイン製)	10.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	5.4 ~ 5.8

調 製 法

本品65gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
 日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
 日局18 保存効力試験法
 日局18 生薬の微生物限度試験法
 ※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
 (令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Candida albicans NBRC 1594
Aspergillus brasiliensis NBRC 9455

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

サブロー・ブドウ糖液体培地
「ダイゴ」日局試験用Sabouraud-dextrose broth
》DAIGO 《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】398-01811 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

ペプトン (肉製及びカゼイン製)	10.0g
ブドウ糖	20.0g
滅菌後のpH	5.4 ~ 5.8

調 製 法

本品30gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
 日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
 ※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
 (令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Candida albicans NBRC 1594

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

ポテト・デキストロースカンテン培地
「ダイゴ」日局試験用Potato dextrose agar
》DAIGO《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】399-01841 (300g)

組 成 (精製水1 L当たり)

ポテトエキス	4.0g
ブドウ糖	20.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	5.4 ~ 5.8

調 製 法

本品39gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
 日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
 日局18 保存効力試験法
 日局18 生薬の微生物限度試験法
 ※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
 (令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Candida albicans NBRC 1594
Aspergillus brasiliensis NBRC 9455

使用期限

製造後 2年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

モーゼル腸内細菌増菌ブイヨン培地
「ダイゴ」日局試験用Enterobacteria enrichment broth-Mossel
》DAIGO《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】395-01701 (300g)

組 成 (精製水1 L当たり)

ゼラチン製ペプトン	10.0g
ブドウ糖	4.5g
乾燥ウシ胆汁	20.0g
リン酸二水素カリウム	2.0g
リン酸水素二ナトリウム	6.4g
加熱後のpH	7.0 ~ 7.4

調 製 法

本品42.9gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、100℃で30分間加熱し、直ちに冷却する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
 日局18 生薬の微生物限度試験法

試 験 菌 株

Escherichia coli NBRC 3972
Pseudomonas aeruginosa NBRC 13275
Staphylococcus aureus NBRC 13276
Salmonella enterica subsp. *enterica* serovar *Abony* NBRC 100797

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

バイオレット・レッド・胆汁酸・ブドウ糖
カンテン培地「ダイゴ」日局試験用Violet red bile glucose agar
》DAIGO《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】398-01791 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

酵母エキス	3.0g
ゼラチン製ペプトン	7.0g
胆汁酸塩	1.5g
塩化ナトリウム	5.0g
ブドウ糖一水和物	10.0g
カンテン	15.0g
ニュートラルレッド	30.0mg
クリスタルバイオレット	2.0mg
加熱後のpH	7.2 ~ 7.6

調 製 法

本品41.5gに精製水1Lを加えよく振り混ぜたのち、煮沸するまで加熱する。
オートクレーブで加熱してはならない。

用 途

日局18 微生物限度試験法
日局18 生薬の微生物限度試験法

試 験 菌 株

Pseudomonas aeruginosa NBRC 13275
Escherichia coli NBRC 3972
Salmonella enterica subsp. *enterica* serovar *Abo* NBRC 100797

使用 期 限

製造後 2年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、
廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き
文教出版 (2022)

日局試験用

マッコンキー液体培地
「ダイゴ」日局試験用MacConkey broth
》DAIGO《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】391-01801 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

ゼラチン製ペプトン	20.0g
ラクトース一水和物	10.0g
乾燥ウシ胆汁	5.0g
プロモクレゾールパープル	10.0g
滅菌後のpH	7.1 ~ 7.5

調 製 法

本品35gに精製水1Lを加えよく振り混ぜたのち、容器に分注する。確認さ
れたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276
Escherichia coli NBRC 3972

使用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、
廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き
文教出版 (2022)

日局試験用

マッコンキーカンテン培地
「ダイゴ」日局試験用MacConkey agar
》DAIGO 《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】390-01751 (300g)

組 成 (精製水1 L当たり)

ゼラチン製ペプトン	17.0g
カゼイン製ペプトン	1.5g
肉製ペプトン	1.5g
乳糖一水和物	10.0g
塩化ナトリウム	5.0g
胆汁酸塩	1.5g
カンテン	13.5g
ニュートラルレッド	30.0mg
クリスタルバイオレット	1.0mg
滅菌後のpH	6.9 ~ 7.3

調 製 法

本品50gに精製水1Lを加えよく振り混ぜる。絶えず振り混ぜながら1分間煮沸させてから、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法

試 験 菌 株

Escherichia coli NBRC 3972

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

ラパポート・バシリアジス・サルモネラ
「ダイゴ」日局試験用Rappaport Vassiliadis Salmonella
Enrichment Broth
》DAIGO 《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】391-01801 (300g)

組 成 (精製水1 L当たり)

ダイズ製ペプトン	4.5g
塩化マグネシウム (無水)	13.6g
塩化ナトリウム	8.0g
リン酸水素ナトリウム	0.4g
リン酸二水素ナトリウム	0.6g
マラカイトグリーン	36.0mg
滅菌後のpH	5.0 ~ 5.4

調 製 法

本品27.1gに精製水1Lを加え若干加温しながら溶かし、容器に分注後、115℃を超えない温度で、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法

試 験 菌 株

Salmonella enterica subsp. *enterica* serovar *Abony* NBRC 100797
Staphylococcus aureus NBRC 13276

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

XLD（キシロース・リジン・デオキシコール酸）
カンテン培地「ダイゴ」日局試験用Xylose, lysine, deoxycholate agar
》DAIGO《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】396-01731（300g）

組 成（精製水1L当たり）

キシロース	3.5g
Ｌ－リジン	5.0g
乳糖－水和物	7.5g
白糖	7.5g
塩化ナトリウム	5.0g
酵母エキス	3.0g
フェノールレッド	80.0mg
デオキシコール酸ナトリウム	2.5g
チオ硫酸ナトリウム	6.8g
クエン酸鉄アンモニウム（Ⅲ）	0.8g
カンテン	13.5g
沸騰後のpH	7.2 ～ 7.6

調 製 法

本品55.2gに精製水1Lを加えよく振り混ぜたのち、煮沸するまで加熱し、50℃まで冷却してからシャーレに注ぎ込む。
オートクレーブで加熱してはならない。

用 途

日局18 微生物限度試験法
日局18 生薬の微生物限度試験法

試 験 菌 株

Salmonella enterica subsp. enterica serovar Abony NBRC 100797

使用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店（2021）
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版（2022）

日局試験用

セトリミドカンテン培地
「ダイゴ」日局試験用Cetrimide agar
》DAIGO《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】399-01721（300g）

組 成（精製水1L当たり）

ゼラチン製ペプトン	20.0g
塩化マグネシウム	1.4g
硫酸カリウム	10.0g
セトリミド	0.3g
カンテン	13.6g
（グリセリン）	（10.0mL）
滅菌後のpH	7.0 ～ 7.4

調 製 法

本品45.3gとグリセリン10.0mLを精製水1Lに加え溶かす。振り混ぜながら加熱して1分間煮沸する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法

試 験 菌 株

Pseudomonas aeruginosa NBRC 13275
Escherichia coli NBRC 3972

使用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店（2021）
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版（2022）

日局試験用

マンニット・食塩カンテン培地
「ダイゴ」日局試験用Mannitol salt agar
》DAIGO《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】396-01851 (300g)

組 成 (精製水1 L当たり)

カゼイン製ペプトン	5.0g
肉製ペプトン	5.0g
肉エキス	1.0g
D-マンニトール	10.0g
塩化ナトリウム	75.0g
フェノールレッド	25.0mg
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	7.2 ~ 7.6

調 製 法

本品111gに精製水1Lを加えよく振り混ぜる。振り混ぜながら加熱して1分間煮沸する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
日局18 生薬の微生物限度試験法

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276
Escherichia coli NBRC 3972

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

強化クロストリジア培地
「ダイゴ」日局試験用Reinforced medium for Clostridia
》DAIGO《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】391-01781 (300g)

組 成 (精製水1 L当たり)

牛肉エキス	10.0g
ペプトン	10.0g
酵母エキス	3.0g
溶性デンプン	1.0g
ブドウ糖	4.5g
システイン塩酸塩	0.5g
塩化ナトリウム	5.0g
酢酸ナトリウム	3.0g
カンテン	0.5g
滅菌後のpH	6.6 ~ 7.0

調 製 法

本品37.5gに精製水1Lを加え、絶えずかき混ぜながら煮沸するまで加熱して溶かす。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
(令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Clostridium sporogenes NBRC 14293

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

コロンビアカンテン培地
「ダイゴ」日局試験用Columbia agar
》DAIGO《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】395-01821 (300g)

組 成 (精製水1 L当たり)

カゼイン製ペプトン	10.0g
肉浸出物のペプシン消化物	5.0g
心筋浸出物のパンクレアチン消化物	3.0g
酵母エキス	5.0g
トウモロコシデンプン	1.0g
塩化ナトリウム	5.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	7.1 ~ 7.5

調 製 法

本品44gに精製水1Lを加えよく振り混ぜる。振り混ぜながら加熱して1分間煮沸する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法

試 験 菌 株

Clostridium sporogenes NBRC 14293

使用期限

製造後 2年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

フォーゲル・ジョンソン寒天培地
「ダイゴ」日局試験用Vogel-Johnson Agar Medium
》DAIGO《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】395-01181 (300g)

組 成 (精製水1 L当たり)

カゼイン製ペプトン	10.0g
酵母エキス	5.0g
D-マンニトール	10.0g
リン酸水素ナトリウム	5.0g
塩化リチウム	5.0g
グリシン	10.0g
フェノールレッド	25.0mg
カンテン	16.0g
滅菌後のpH	7.0 ~ 7.4

調 製 法

本品61gを精製水1Lに加え溶かす。時々激しく振り混ぜながら加熱し、1分間煮沸した後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。40~50℃に冷却後、滅菌亜テルル酸カリウム溶液 (1→100)20mLを加えて混和する。

用 途

日局18 生薬の微生物限度試験法

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、冷暗所に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

ベアード・パーカー寒天培地
「ダイゴ」日局試験用Baird- Parker Agar
》DAIGO 《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】392-01191 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	10.0g
肉エキス	5.0g
酵母エキス	1.0g
塩化リチウム	5.0g
グリシン	12.0g
焦性ブドウ酸ナトリウム	10.0g
滅菌後のpH	6.6 ~ 7.0

調 製 法

本品63gを精製水950mLに加え溶かす。時々激しく振り混ぜながら加熱し、1分間煮沸溶解する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。40～50℃に冷却後、滅菌亜テルル酸カリウム溶液(1→100)10mLと卵黄乳液(卵黄約30%と生理食塩水約70%の混和調製液) 50mLを加えて混和する。

用 途

日局18 生薬の微生物限度試験法

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、冷暗所に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

日局充てん試験対応
ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト
培地「ダイゴ」Fluid Soybean-Casein-Digest Medium
》DAIGO 《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】397-01325 (500g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	17.0g
ダイズ製ペプトン	3.0g
塩化ナトリウム	5.0g
リン酸水素ナトリウム	2.5g
ブドウ糖	2.5g
滅菌後のpH	7.1 ~ 7.5

調 製 法

本品30gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局17 培地充てん試験 (プロセスシミュレーション)

※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
(令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276*Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275*Bacillus subtilis* NBRC 3134*Candida albicans* NBRC 1594*Aspergillus brasiliensis* NBRC 9455

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

ペプトン食塩緩衝液
pH7.0「ダイゴ」日局試験用Buffered sodium chloride-peptone
solution pH 7.0

》DAIGO《 for JP general test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】392-01711 (300g)

組 成 (精製水1 L当たり)

リン酸二水素カリウム	3.6g
リン酸水素二ナトリウム (無水)	5.7g
塩化ナトリウム	4.3g
ペプトン	1.0g
滅菌後のpH	6.9 ~ 7.1

調 製 法

本品14.6gに精製水1Lを加えよく振り混ぜたのち、容器に分注する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
日局18 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
日局18 生薬の微生物限度試験法

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

医薬品・化粧品検査

防腐剤不活化・検体前処理用

L P 希釈液「ダイゴ」

DILUENT with LECITHIN &
POLYSORBATE 80

》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】397-00281 (30g×5瓶)

概 要

本品は、米国CTFA(Cosmetic, Toiletries and Fragrances Association) で使用されているもので、防腐剤を含有する医薬品・化粧品の微生物汚染試験 (生菌数測定) に際し、これら検体を均一な乳化液とすること、又前処理操作時の検体中の細菌及び真菌の死滅を防ぎ、製剤中の防腐剤を不活化することを目的とした希釈液である。

組 成 (精製水1 L当たり)

カゼイン製ペプトン	1.0g
レシチン	0.7g
ポリソルベート80	20.0g
精製水	8.3g
滅菌後のpH	7.1 ~ 7.5

調 製 法

使用時本品を適当に加温して全量 (30g) を精製水1Lに加えよくかき混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後、121℃で15~20分間高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
(令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

注 意 事 項

本品は冷暗所に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 石関忠一：日本化粧品技術者連合会会誌7(1), 1, 1971.
化粧品の微生物汚染とその検査法について。
- 2) 岩原繁雄：医薬品研究3(4), 444, 1972.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法(第1報)。
- 3) 石関忠一：医薬品研究4(2), 175, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法(第3報)。
- 4) 石関忠一他：衛生試験所報告第91号, 1973.
防腐剤に関する研究、とくにポリソルベート80及びレシチンによる不活化作用について。
- 5) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)。